

平成 25 年 度

事 業 報 告 書

自 平成 25 年 1 月 4 日

至 平成 25 年 12 月 31 日

公益財団法人 馬事文化財団

目 次

I	根岸競馬記念公苑の事業	1
1	馬の博物館の事業	1
(1)	特別展示等	1
(2)	テーマ展	2
(3)	常設展示	2
(4)	馬事博物資料等の調査・研究	2
(5)	馬事博物資料等に関する印刷物の編集及び刊行	3
(6)	馬事博物資料の収集	3
(7)	資料の貸出	3
(8)	資料の管理・保管	3
(9)	普及イベント	3
(10)	馬に関する講習等	4
(11)	他館との交流	4
2	馬展示事業	4
(1)	馬の展示	4
(2)	ふれあいイベント	5
(3)	春秋特別イベント	6
(4)	厩舎管理等	6
3	馬文化の保存	6
(1)	馬事伝統行事保存事業	6
(2)	在来馬種保存事業	6
4	施設の管理運営及び公苑の整備	6
5	入館者・入苑者	7
II	J R A 競馬博物館の事業	7
1	展示及び調査・研究	7
(1)	ギャラリー	7
(2)	テーマコーナー	8
(3)	特別展示室	8
(4)	エントランスホール	8
(5)	移動展示	8
(6)	常設展示機器等	9
(7)	映像ホール	9
(8)	競馬博物資料等の調査・研究	9
(9)	寄贈を受けた主な資料	9

(10) 資料の収集及び収蔵物の管理・保存	10
(11) 普及イベント	10
2 案内業務及び入館者	10
III 競馬振興会館 (Gate J.) の事業	11
1 Gate J. 新橋の事業	11
2 Gate J. 梅田の事業	12
3 入館者	12
4 パブリックビューイング等の開催	12
IV 広報活動	13
1 馬の博物館	13
2 J R A 競馬博物館	13
3 Gate J. 新橋・梅田	13
V J R A 賞馬事文化賞候補作品の情報収集	13
VI 庶務	13
1 役員等に関する事項	13
(1) 役員	14
(2) 評議員	14
(3) 参与	14
(4) 職員及び組織図	14
2 評議員会及び理事会	15
(1) 評議員会	15
(2) 理事会	16

平成 25 年度 事 業 報 告

当法人は、平成 24 年 12 月 21 日付で内閣総理大臣の公益財団法人への移行認定を受け、平成 25 年 1 月 4 日、旧法人の解散登記及び新法人への移行登記を行いました。

平成 25 年度においては、当財団定款第 4 条の目的を達成するため、事業計画に基づき根岸競馬記念公苑 馬の博物館をはじめとする各施設にて様々な事業を実施しました。

I 根岸競馬記念公苑の事業

1 馬の博物館の事業

(1) 特別展示等

春季は、『特別展 鎌倉時代の馬と道 一畠山重忠と三浦一族一』を開催しました。畠山・三浦両家は片や武蔵山間部、片や相模沿岸部で勢力を蓄え、ともに源平合戦と鎌倉幕府創建の過程で東西に駆け、高く武名を挙げながら対照的な处世の道を歩み、しかも最後はともに一族滅亡の悲劇に見舞われています。

同展では、馬の博物館所蔵の「早馳明神御正躰」（平安時代）の他、「兜の鍬形」（中世 東京大学臨海実験所蔵）、「銅製経筒」（平安時代 平澤寺蔵）、古文書「御厩司次第」（鎌倉時代 西園寺家蔵）、重要文化財「建治三年年貢算用状」「弘安二年国庫納米員数注文」（鎌倉時代 金沢文庫蔵）等の貴重な文化財の展示を通じ、畠山と三浦の二つの武士団を軸に、坂東武者と馬とのかかわりを紹介する他、実務に長けた有能な地方行政官というあまり知られてはいない彼らの側面にも触れました。

なお、会期中の 5 月 11 日には、中世関東武士団研究の最先端に立つ今野慶信氏（新宿歴史博物館）、清水亮氏（埼玉大学教育学部）、高橋修氏（茨城大学人文学部）等を招いてシンポジウム「武士と馬と街道と」を開催し、坂東武者を地域の支配・交通・流通とからめてとらえ直す実証的かつ先進的な研究の一端を紹介しました。

秋季は企画展示として『馬のアート cartoons×comics 一時代を映す諷刺と現代マンガの世界一』を開催しました。現在、様々なジャンルの作品が発表されて、現代日本の代表的な文化のひとつとして世界に発信されているマンガの歴史を遡ると、幕末の横浜の外国人居留地にたどり着きます。当時の諷刺誌『ジャパン・パンチ』、わが国最初のカラー漫画誌『東京パック』等を中心に馬が登場する諷刺画を紹介するとともに、幅広い読者層をもつ現代マンガの世界を、馬や競馬を題材にした作品を通して紹介しました。現代漫画の大家の知られざる競馬漫画から、20 世紀末に話題を集めた作品、そして新進の最近作まで、貴重な原画を含めた展示で、子供たちにも親しみやすく紹介しました。

展示期間	展示タイトル	展示場所
4. 27～6. 9	特別展 鎌倉時代の馬と道 －畠山重忠と三浦一族－	第2・3 展示室
10. 5～12. 1	企画展 馬のアート cartoons×comics －時代を映す諷刺と現代マンガの世界－	第2 展示室

(2) テーマ展

テーマ展「森部英司展 ～馬に乗り、色が乗る」では、自ら馬に乗り制作する新進作家森部英司氏の馬を題材に描いた作品や、人馬一体で作り上げた作品を展示しました。その一環として「馬とのつどい 2013」では馬上アートパフォーマンス「UMACTION」を披露、注目を集めました。

また、テーマ展「UMARTs 2013 うまからうまれる 15 のアート－武蔵野美術大学芸術文化学科アーツプロジェクト」を行いました。この展示は武蔵野美術大学との共催により、馬文化とアートとの接点を探求したもので、若手アーティストが馬を五感で感じて創った作品を、単に陳列するに止まらず、工夫をこらして展示し、さらに体験イベントを通じてお客様にアートの楽しさを伝える全体的な芸術のプロデュースを試みました。

[第2 展示室]

	展示期間	展示タイトル
1	H24. 12. 15～2. 17	江戸の武具・馬具
2	2. 21～4. 21	東北の馬と祭り
3	6. 15～9. 29	馬と訪ねる昔の横浜 －横浜馬巡り－
4	12. 14～H26. 2. 23	初春吉例 馬の屏風

[第3 展示室]

	展示期間	展示タイトル
1	H24. 12. 15～2. 17	やまさき拓味原画展
2	6. 15～9. 1	馬と訪ねる昔の横浜 －横浜版画－
3	9. 4～10. 27	森部英司展 ～馬に乗り、色が乗る
4	11. 2～12. 1	UMARTs 2013 うまからうまれる 15 のアート
5	12. 14～H26. 2. 23	馬頭観音

※ 2月21日から4月21日の期間は第3 展示室改修工事のため閉鎖

(3) 常設展示

	展示場所	展示物
1	第1 展示室	根岸競馬の歴史・皇室と競馬等
2	第2 展示室	曲がり家・明治天皇御料馬車
3	第4 展示室	ウマの進化・馬と人との関わり

(4) 馬事博物資料等の調査・研究

	目的	場所
1	平成25年度特別展「鎌倉時代の馬と道 －畠山重忠と三浦一族－」に関する調査・出品交渉	神奈川県立金沢文庫

2	平成 25 年度企画展「馬のアート cartoons×comics -時代を映す諷刺と現代マンガの世界-」に関する調査・出品交渉	京都精華大学他
3	平成 26 年度特別展「馬と歌舞伎（仮称）」に関する調査・出品交渉	大谷図書館他

(5) 馬事博物資料等に関する印刷物の編集及び刊行

	種類	印刷物
1	図録	鎌倉時代の馬と道 -畠山重忠と三浦一族-
2	図録	馬のアート cartoons×comics -時代を映す諷刺と現代マンガの世界-

(6) 馬事博物資料の収集

財団法人日本中央競馬会弘済会から助成を受け、馬事博物資料の購入を行いました。

① 購入した資料（1点 50万円以上）

	資料名
1	富士巻狩図屏風 6曲1双
2	木鐙 鎌倉時代 1双

② 寄贈を受けた資料

	資料名
1	山本容子「競馬百科」（銅版画）
2	森部英司「ポンデリング」

(7) 資料の貸出

	貸出資料名	貸出先	貸出期間
1	馬の祭りフォトコンテスト 入賞作品 14点	日本中央競馬会馬事公苑	1.24～3.29
2	東京ジョツケー倶楽部勝馬 投票券	板橋区立郷土資料館	1.31～3.29
3	狩猟文のベルト 他 5点	古代オリエント博物館	7.18～10.9
4	三彩女子騎馬俑 他 3点	横浜ユーラシア文化館	10.13～ H26.1.13

(8) 資料の管理・保管

- ① 新規の図書・写真・博物資料を資料管理情報システムに入力しました。
- ② 害虫対策として、収蔵庫の燻蒸消毒及び展示室の床面消毒を実施しました。（8月25、26日）
- ③ 三井高義作品（石膏原型）のクリーニング・防黴加工及び修復を行いました。

(9) 普及イベント

- ① 「夏休み自由研究相談」、「工作教室」等
夏休み期間中の子供向け企画として、以下の4つの行事を実施しまし

た。

- 馬に関する質問や宿題等の相談に応じる「夏休み自由研究相談」
(7月21日、28日、8月4日、11日、18日、25日)
- 馬のペーパークラフトの組み立て及びポニーと散歩ができる「夏休み子供向け工作教室 馬のペーパークラフトをつくろう」(8月4日、18日)
- 蹄鉄を利用したオリジナルコースターの製作及びポニーと散歩できる「夏休み子供向け工作教室 蹄鉄コースターを作ろう」(7月28日)
- 公苑や展示に関する問題を出題した「夏休みクイズラリー」
(7月20日～8月11日)

② 「ミュージアムコンサート in 馬の博物館」

11月17日に、横浜市等が主催する「クラシック・ヨコハマ2013」の一環として、イベントホールにてファミリー向けのクラシックコンサートを実施しました。

(10) 馬に関する講習等

① 講習

日本中央競馬会馬事公苑、日本ウマ科学会の依頼により馬事文化を普及・啓蒙する講義を依頼先にて実施しました。

装蹄師認定講習会のカリキュラムの中に「馬の博物館見学」が組み込まれており、来苑の際に馬文化や競馬の歴史・博物資料等についての講義を実施しました。

また、畜産・獣医学等の専攻科目を有する大学（東京農業大学・日本獣医生命科学大学）の校外学習の受け入れに積極的に応じ、見学学生の専門分野に合わせた説明、案内に努めました。

② 学芸員課程学生の博物館実習

日本大学・愛知教育大学・鶴見大学・聖心女子大学4大学より5名の実習生を受け入れました。(7月26日～8月4日)

(11) 他館との交流

博物館事業の充実を図るため、日本博物館協会、神奈川県博物館協会等が開催する会議、研究会、専門部会に参加しました。

また、各地の博物館、教育機関との交流を通じて資料の相互活用及び情報交換を行った他、全国美術館会議に加入し美術館との連携を図りました。

2 馬展示事業

(1) 馬の展示

博物館事業の一環として、実馬展示を実施しました。

多品種の馬を繋養し、馬場・芝生広場での放牧や騎乗等の他、日常の飼養管理の様子を紹介し、馬の行動を観察できる環境を整えました。

なお、日本在来馬である野間馬、北海道和種が2月、11月にそれぞれ入厩した他、12月には平成21年の天皇賞（春）に優勝したマイネルキッツ号及びミニチュアホースが入厩する等展示馬の充実を図りました。

繋養馬一覧表（平成 25 年 12 月 31 日現在）

（入厩順）

馬名	毛色	生 年	年齢	性別	産地	体高	品種
マーカス	尾花栗毛	1992年5月	21	セン	標茶町	141cm	ハフリンガー
マロン	栗	1993年6月	20	牝	和歌山	72cm	アメリカンミニチュアホース
ペルニー	茶斑	1997年 (推定)	16	セン	不詳	102cm	中半ポニー
ダンサー	栗	1992年	21	セン	アイルランド	164cm	I R I S H
グッバイレディ	芦	1993年4月	20	牝	標茶町	161cm	ウエストファーレン
シンザンパーク	鹿	1994年3月	19	セン	三戸郡	154cm	アングロアラブ
ミカン	栗毛	2010年	3	セン	今治市	100cm	野間馬
ゆき	河原毛	2011年4月	2	牝	函館市	124cm	北海道和種
ホワイトミニ	駁栗	1998年	15	セン	音更町	85cm	ミニチュアホース
マイネルキッツ	栗毛	2003年3月	10	セン	新冠町	164cm	サラブレッド

(2) ふれあいイベント

展示馬を活用し、馬についての関心や、馬に関する知識を高めるため、愛馬心と動物愛護の精神を涵養することを目的に、以下のイベント等を実施しました。

① 馬の博物館の入館者を対象とした体験乗馬及び馬車の試乗会

毎月第 1 日曜日と第 3 日曜日（12 月～3 月の冬季は第 3 日曜日のみ実施）に、当日の馬の博物館入館者を対象としたと体験乗馬及び馬車の試乗会を開催しました。

② にんじんタイム

毎週土曜日、お客様が馬に親しむ機会の一つとして、にんじんを自ら与え、馬に触れられる機会と癒しの場を提供しました。

③ 体験学習講座

夏季休暇中、小学校高学年児童を対象に、馬に関する基礎知識の学習や馬房の清掃、体験乗馬、馬の手入れ等を行う『夏休み一日愛馬教室』を 3 日間開催しました。（8 月 21 日～23 日）

④ 「ミカン号と年賀状用の写真をとろう！」

平成 26 年の干支が午であることから年賀状用として日本在来馬の一種である野間馬のミカン号とお客様と一緒に写真撮影を行いました。（11 月 24 日、30 日、12 月 1 日、7 日、8 日、14 日、15 日、21 日、22 日）

⑤ その他の協力

来苑した幼稚園・小学校等からの要請に応じて、馬についての説明の他、自らにんじんを与え、馬に触れることのできる体験の場を提供しました。

また、学校教育機関と連携し、学生の職業体験学習の受け入れをしま

した。

(3) 春秋特別イベント

春季は『馬とあそぼうこどもの日』、秋季には『馬とのつどい 2013』を開催しました。春季は、伝統馬事芸能の紹介として公益社団法人 大日本弓馬会による「流鏝馬・笠懸」の実演と写真撮影会の他、横浜市民広間演奏会によるサクスカルテットの演奏を行いました。秋季は、台風 27 号接近の影響により荒天での実施となりました。屋外イベントは多数中止にした中でメインイベント森部英司氏による馬上アートパフォーマンス「UMACTION」は強風雨の中、行いました。また、博物館内にて武蔵野美術大学芸術文化学科アーツプロジェクトの皆様による UMARTs2013 展プレイイベント「つくろう！君だけの馬」では馬をデザインしたブローチ、マスコット人形等オリジナルグッズのワークショップを開催しました。

月日	催物（集客）	内容
5. 5	馬とあそぼう こどもの日 (来場者 8,500 人)	流鏝馬・笠懸の実演(写真撮影会)、装蹄作業・蹄鉄造りの実演、馬・馬車の試乗会、サクスカルテットの演奏、野点体験、似顔絵プレゼント、ふれあい動物園、愛媛県物産展 他
10. 20	馬とのつどい 2013 (来場者 1,200 人)	アートパフォーマンス「UMACTION」、UMARTs2013 展プレイイベント「つくろう！君だけの馬」、金管五重奏の演奏、米海軍消防署イベント、菊花賞勝ち馬予想クイズ、似顔絵プレゼント、ふれあい動物園、午年年賀状撮影、キッチンカー他

(4) 厩舎管理等

展示馬の健康管理については体温・挙動等に常に留意し、また、伝染病予防接種等の防疫管理や、馬房を清潔に保つために厩舎の定期消毒・害虫駆除を行う等の衛生管理並びにお客様への快適な展示環境の提供に努めました。

3 馬文化の保存

(1) 馬事伝統行事保存事業

わが国に古くから伝わる馬に係わる伝統行事の保存及び振興を図るため、馬事伝統行事を行う 44 団体に対して助成金を交付しました。

(2) 在来馬種保存事業

わが国に現存する 8 品種の在来馬の保存活動を行う団体に対し助成金を交付しました。

なお、10 月 26 日及び 27 日に日本中央競馬会東京競馬場主催の『日本古来の在来馬「ミカン」がやって来る！』にて 218,199 円の募金があり、全額を本事業の助成金の一部として使用しました。

4 施設の管理運営及び公苑の整備

公苑内の警備や建物の総合管理業務等は各業者に委託し実施しました。

また、草花の植栽や樹木の剪定等を行い公苑の美化に努めました。

5 入館者・入苑者

区分	馬の博物館						根岸競馬記念公苑		
	開館 日数	入館者数					開苑 日数	入苑者数 (概数)	1日 平均
		大人	小人	団体	合計	1日 平均			
1月	24日	770	207	194	1,171	49	24日	15,250	635
2月	23日	884	308	236	1,428	62	25日	15,770	631
3月	28日	1,720	584	187	2,491	89	28日	29,590	1,057
4月	23日	979	294	499	1,772	77	27日	16,830	623
5月	28日	3,668	1,544	872	6,084	217	28日	28,500	1,018
6月	22日	745	160	424	1,329	60	26日	14,490	557
7月	22日	602	278	110	990	45	27日	10,360	384
8月	18日	570	191	123	884	49	27日	10,270	380
9月	26日	592	153	177	922	35	26日	15,410	593
10月	23日	1,348	400	1,239	2,987	130	27日	16,740	620
11月	27日	1,794	474	313	2,581	96	27日	19,460	721
12月	12日	743	268	8	1,019	85	24日	13,500	563
25年計	276日	14,415	4,861	4,382	23,658	86	316日	206,170	652
24年計	281日	12,798	5,044	5,947	23,789	85	314日	218,895	697
前年比 (%)	98.2	112.6	96.4	73.7	99.4	101.2	100.6	94.2	93.5

*1日最高入館者数 3,278人 5月5日

*1日最高入苑者数(概数) 8,500人 5月5日

*教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般	競馬関係
137	293	0	2,300	0	286	94	1,203	69

II JRA競馬博物館の事業

1 展示及び調査・研究

春季には、本年の日本ダービーが80回の節目を迎えることに加え、東京競馬場が開場80年になることを記念し、特別展『日本ダービー80回記念/東京競馬場開場80年記念 東京優駿・東京競馬場展』を開催しました。同展では、歴代日本ダービー優勝馬の馬主服やレース写真、映像の他、関連資料を中心に東京競馬場の歴史を示す関連資料等をあわせて紹介しました。

秋季には、一般社団法人中央競馬振興会との共催により、特別展『ライバルの記憶～中央競馬史に刻まれた激闘譜』を開催しました。同展では、入館者投票を実施した結果を基に、競馬ファンの記憶に残る“ライバル対決”をランキング順に関連資料や解説パネル、写真、映像等で紹介しました。

(1) ギャラリー

	展示期間	展示タイトル
1	H24.12.1～4.14	第10回ホースフォトグラフ展 太田宏昭・寺島一郎・松崎 博の世界

2	4.20～6.30	日本ダービー80回記念/東京競馬場開場80年記念 東京優駿・東京競馬場展
3	7.13～9.29	やまさき拓味原画展
4	10.5～11.24	ライバルの記憶～中央競馬史に刻まれた激闘譜
5	11.30～H26.4.20	JRAポスター展～中央競馬のヒーローたち～

(2) テーマコーナー

	展示期間	展示タイトル
1	H24.10.3～2.7	近代競馬150周年記念 わが国の偉大なる種牡馬たち[サアブレッド編] 【後期】
2	2.9～3.24	2012年度JRA賞展
3	3.27～9.1	THE WORLD JOCKEYS 中央競馬を沸かせた海外のトップジョッキーたち 【Part I】
	9.4～H26.2.6	THE WORLD JOCKEYS 中央競馬を沸かせた海外のトップジョッキーたち 【Part II】

(3) 特別展示室

	展示期間	展示タイトル
1	4.20～6.30	日本ダービー80回記念/東京競馬場開場80年記念 東京優駿・東京競馬場展
2	10.5～11.24	ライバルの記憶～中央競馬史に刻まれた激闘譜

(4) エントランスホール

	展示期間	展示タイトル
1	H24.12.8～2.7	第32回ジャパンカップ優勝馬展
2	1.26～3.17	創設30回記念 フェブラリーステークス展
3	2.9～4.14	2013年度新人騎手紹介展
4	2.9～4.14	安藤勝己騎手 引退記念展
5	4.20～9.1	第80回日本ダービー展
6	9.7～11.24	トウカイテイオー号 追悼展
7	10.5～11.24	ライバルの記憶～中央競馬史に刻まれた激闘譜
8	12.7～H26.2.6	第33回ジャパンカップ優勝馬展

(5) 移動展示

	展示期間	展示タイトル	展示場所
1	H24.12.1～1.20	近代競馬150周年記念 日本近代競馬史展	阪神競馬場アメニティホール
2	H24.11.10～1.20	2011年秋&2012春のGIプレイバック展	東京競馬場フジビュースタンド3F (ウエストホール両脇)
3	1.26～5.12	2012年春&秋のGIプレイバック展 ①	
4	5.18～11.3	〃 ②	
5	11.9～H26.1.19	2012年秋&2013年春のGIプレイバック展	

6	11.30～ H26.1.26	ライバルの記憶～中央競馬 史に刻まれた激闘譜	阪神競馬場アメニティ ホール
---	--------------------	---------------------------	-------------------

(6) 常設展示機器等

第80回日本ダービー優勝馬キズナ号の情報を、展示パネルや常設展示機器「サラブレッドサイアーライン」・「サラブレッドモンタージュ」に追加更新しました。

常設展示機器「重賞競走ビデオBOX」には、平成25年度分の重賞競走映像を追加しました。

(7) 映像ホール

1月9日から4月14日まで、過去の全周映像作品の中から、パリ大障害競走の様子を描いた作品を上映し、4月17日から6月30日の期間は日本ダービー80回記念に因み、米国ダービーを描いた作品のリバイバル上映を行いました。7月13日以降は、CGのミニチュアホースがサラブレッドの始祖を求めて過去に冒険する立体全周映像第3作品を上映しました。

〈上映品目〉

[全周映像リバイバル上映]

上映期間	タイトル
H24.10.31～1.6	The Season～女王陛下と馬たちの祝祭（1998年作品）
1.9～4.14	Spectacle 勇気と情熱と栄光と（1999年作品）
4.17～6.30	Run for the Roses ～The 122nd Kentucky Derby（1996年作品）

[立体全周映像]

上映期間	タイトル
7.13～12.23	チャッピーとエミの大冒険～サラブレッドの始祖を求めて～（2009年作品）

(8) 競馬博物資料等の調査・研究

特別展『東京優駿・東京競馬場展』及びテーマ展『THE WORLD JOCKEYS』開催のため、日本中央競馬会図書室、馬の博物館において調査を行いました。

(9) 寄贈を受けた主な資料

	資料名
1	ロジユニヴァース号蹄鉄（第76回日本ダービー馬）
2	ディープブリランテ号蹄鉄（第79回日本ダービー優勝時使用）
3	第80回日本ダービー優勝馬馬主服
4	第80回日本ダービー優勝騎手使用鞭
5	第33回ジャパンカップ優勝馬馬主服
6	第33回ジャパンカップ優勝騎手使用鞭
7	陶器製馬像「ノーザンテースト」
8	第1回中山グランプリ（現有馬記念）優勝騎手賞

9	2012年香港国際競走レーシングプログラム
10	2013年凱旋門賞関連資料
11	門別競馬場グランシャリオナイター 帽子
12	武田文吾調教師 直筆俳句色紙 1点
13	第38回日本ダービー優勝記念品(馬像)
14	第64回天皇賞・秋優勝記念ピンバッジ
15	第66回 //
16	第45回桜花賞優勝記念品(湯呑茶碗)
17	高知競馬開催イベント関連資料
18	大井競馬場開催 ばんえい競馬PRイベント関連資料
19	昭和34年ハクチカラ号 米国遠征関連資料 2点
20	油彩画「ダイオライト号」 1点

(10) 資料の収集及び収蔵物の管理・保存

- ① 英ダービー優勝馬関係資料の収集を行いました。
- ② 競馬を描いた版画等の収集を行いました。
- ③ 収蔵資料の燻蒸消毒による保存、整理等を行いました。
- ④ 収集した図書・博物資料を資料管理情報システムに入力、管理しました。

(11) 普及イベント

- ① 7月25日と8月1日に東京競馬場の協力を得て、小学生以下を対象に「競馬場で馬を描こう」を開催しました。
- ② 夏休み特別企画として、工作教室「みんなで馬のグッズをつくろう」を以下のとおり開催しました。
 - 8月3日「ペーパークラフトをつくろう」
 - 8月11日「おりがみでターフィーグッズをつくろう」
 - 8月17日「蹄鉄コースターをつくろう」
- ③ 9月29日に関連出版社及び株式会社中央競馬ピーアール・センターの協力を得て、漫画家やまさき拓味(ひろみ)氏のサイン会を実施しました。

2 案内業務及び入館者

総合案内所をはじめ館内にインストラクターを配置し、入館者に対する案内業務を行いました。

区分	開館 日数	入館者数	1日平均 入館者数	備考					
1月	18日	5,327	296	開催日	2日	場外発売	8日	平日	8日
2月	17日	8,911	524	開催日	6日	場外発売	2日	平日	9日
3月	23日	5,798	252	開催日	0日	場外発売	10日	平日	13日
4月	21日	10,057	479	開催日	4日	場外発売	5日	平日	12日
5月	22日	22,251	1,011	開催日	8日	場外発売	0日	平日	14日
6月	22日	11,248	511	開催日	8日	場外発売	2日	平日	12日
7月	13日	3,980	306	開催日	0日	場外発売	6日	平日	7日

8月	23日	4,232	184	開催日	0日	場外発売	9日	平日	14日
9月	21日	3,986	190	開催日	0日	場外発売	10日	平日	11日
10月	22日	13,422	610	開催日	9日	場外発売	0日	平日	13日
11月	22日	14,929	679	開催日	8日	場外発売	1日	平日	13日
12月	14日	6,827	488	開催日	0日	場外発売	8日	平日	6日
25年計	238日	110,968	466	開催日	45日	場外発売	61日	平日	132日
24年計	237日	102,209	431	開催日	41日	場外発売	64日	平日	132日
前年比 (%)	100.4	108.6	108.1						

※7月3日～7月12日 館内整備のため臨時休館

*1日最高入館者数

開催日 6,326人 5月26日(日本ダービー競走当日)
 場外発売日 1,742人 12月22日(有馬記念競走当日)
 平日 579人 5月3日

*1日平均入館者数/総入館者数

開催日 1,525人/68,618人
 場外発売日 416人/25,359人
 平日 129人/16,991人

*教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般	競馬関係
691	288	643	270	18	151	199	2,471	2,928

Ⅲ 競馬振興会館 (Gate J.) の事業

1 Gate J. 新橋の事業

① 施設内の壁面を活用し、パネル展示を行いました。

	展示期間	展示タイトル
1	H24.10.3～2.4	競馬を題材とした日本の切手展
2	2.6～3.25	第80回記念日本ダービー展 PART I 〔三冠を制した日本ダービー展〕
3	3.27～6.3	第80回記念日本ダービー展 PART II 〔激闘の日本ダービー白熱の大接戦〕
4	6.5～9.2	第80回記念日本ダービー展 PART III 〔思い出の日本ダービー〕
5	9.4～11.11	わが国の偉大なる種牡馬たち 〔サラブレッド編〕 (前期)
6	11.13～H26.1.	わが国の偉大なる種牡馬たち 〔サラブレッド編〕 (後期)

② 中央競馬のG I 競走等に関するトークショーやウインズ等での出張イベント及びグリーンチャンネルの放送番組「草野仁のスタジオ Gate J.」の公開収録等のイベントを計51回実施しました。

③ 大型画面を利用し、中央競馬中継のほか、競馬情報番組や馬の博物館所蔵資料の紹介を行いました。

2 Gate J. 梅田の事業

① 施設内の壁面を活用し、パネル展示を行いました。

	展示期間	展示タイトル
1	H24. 10. 13～1. 29	競馬を題材としたわが国の切手
2	2. 2～3. 25	日本競馬史 〔馬券発売黙許～旧競馬法制定〕
3	3. 30～6. 4	第80回記念日本ダービー展 PART I 〔三冠を制した日本ダービー展〕
4	6. 8～9. 10	第80回記念日本ダービー展 PART II 〔激闘の日本ダービー白熱の大接戦〕
5	9. 14～11. 12	第80回記念日本ダービー展 PART III 〔思い出の日本ダービー〕
6	11. 16～H26. 1.	わが国の偉大なる種牡馬たち 〔サラブレッド編〕（前期）

② 中央競馬のG I 競走等の情報を発信するため、トークショーやウインズでの出張イベント等を計9回実施しました。

③ 大型画面を利用し、中央競馬中継のほか、競馬情報番組や馬の博物館所蔵資料の紹介を行いました。

3 入館者

区分	Gate J. 新橋			Gate J. 梅田		
	開館日数	入館者数	1日平均	開館日数	入館者数	1日平均
1月	24日	11,008	459	16日	21,545	1,347
2月	23日	10,293	448	15日	20,535	1,369
3月	26日	12,160	468	18日	24,225	1,346
4月	25日	12,160	486	20日	26,991	1,350
5月	25日	13,894	556	16日	25,276	1,580
6月	26日	12,054	464	18日	25,971	1,443
7月	25日	11,046	442	17日	19,981	1,175
8月	27日	11,642	431	16日	19,790	1,237
9月	25日	11,276	451	18日	22,679	1,260
10月	26日	11,791	454	19日	26,520	1,396
11月	25日	12,527	501	16日	25,750	1,609
12月	24日	13,981	583	16日	28,916	1,807
25年計	301日	143,832	478	205日	288,179	1,406
24年計	297日	142,441	480	209日	293,973	1,407
前年比 (%)	101.3	101.0	99.6	98.1	98.0	99.9

*1日最高入館者数

Gate J. 新橋 1,101人 5月24日（日本ダービーイベント実施日）

Gate J. 梅田 2,889人 12月24日（有馬記念翌々日払戻し）

4 パブリックビューイング等の開催

ドバイのメイダン競馬場で行われたドバイワールドカップデー諸競走にジェンティルドンナ号他、日本馬が出走するのを受けて、3月31日に新宿バル

ト 9 及び梅田ブルク 7 において「映画館でみんなで応援！2013 ドバイワールドカップデーパブリックビューイング」を開催しました。

また、フランスのロンシャン競馬場で行われた凱旋門賞にオルフェーヴル号他、日本馬が出走するのを受けて、10月6日に新宿バルト 9 及び梅田ブルク 7 において「映画館でみんなで応援！2013 凱旋門賞パブリックビューイング」を開催しました。

その他、3月から北海道による J R A 勝馬投票券の発売が開始されたことに伴い、同道が運営する中でも比較的規模の大きい「門別競馬場」において、当財団が所有する資料等を用いて「日本ダービー第 80 回記念競走」を中心に展示・紹介しました。

IV 広報活動

1 馬の博物館

- ① 日本中央競馬会各事業所、マスコミ関係、教育・文化関係機関、交通機関や観光案内所等にポスターやパンフレットを配布しました。
- ② テレビ、新聞、雑誌等のメディア取材に対応しました。
- ③ ホームページの最新情報・展示情報を随時更新し、充実を図りました。

2 J R A 競馬博物館

- ① 競馬実況映像メディアや日本中央競馬会発行印刷物に展示案内を掲出しました。
- ② 博物館専用看板を利用し広報活動を展開しました。
- ③ テレビ、ラジオ、新聞・雑誌等のメディア取材に対応しました。
- ④ ホームページの最新情報・展示情報を随時更新し、充実を図りました。
- ⑤ 旅行者に展示情報を随時通知し来館誘致に努めました。
- ⑥ オリジナルカレンダーを制作し、クイズラリー・アンケート参加記念品として入館者に配布するとともに、報道関係者・府中市内の各種機関・競馬関係者等に配布しました。

3 Gate J. 新橋・梅田

- ① オリジナルグッズを制作し、イベント参加者や競馬場等へ配布しました。
- ② ホームページにイベント情報等を随時更新し、来館促進を図りました。
- ③ 案内用のリーフレットを増刷し、Gate J. 新橋・梅田の他日本中央競馬会各事業所にも配布しました。

V J R A 賞馬事文化賞候補作品の情報収集

日本中央競馬会から業務委託を受けて、J R A 賞馬事文化賞の候補作品の情報収集及び選定補助業務を行いました。

VI 庶務

1 役員等に関する事項（平成 25 年 12 月 31 日現在）

(1) 役員

役職名	氏名	就任日	退任日	備考
理事長	畑山 光伸	H24. 3. 1		
専務理事	仁岸 正之	H25. 3. 6		
専務理事	長澤 良信	H22. 3. 26	H25. 3. 5	
理事	末崎 真澄	H19. 10. 1		
理事	小川 欽司	H15. 10. 1		非常勤
理事	山崎 郁夫	H15. 10. 1		非常勤
監事	奥 寛	H20. 4. 23		非常勤
監事	五島 崇	H23. 3. 1		非常勤

(2) 評議員

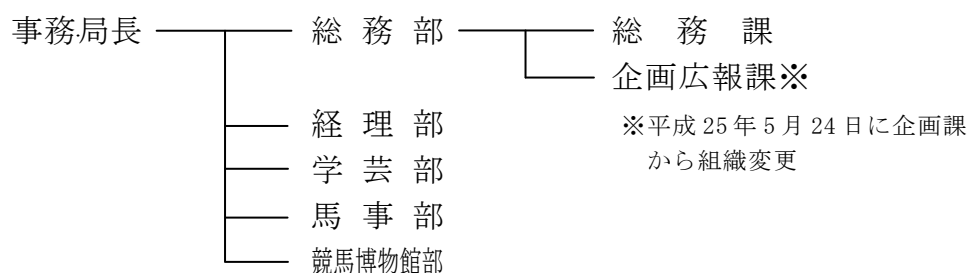
氏名	就任日	退任日	備考
井上 謙吾	H25. 1. 4		
小笠原信夫	H25. 1. 4		
岡部 長忠	H25. 1. 4		
酒井 俊夫	H25. 1. 4		
澤野由紀子	H25. 1. 4		
山崎 毅紀	H25. 1. 4		
横山 清弘	H25. 1. 4		

(3) 参与

氏名	就任日	退任日	備考
荒木喜一郎	H21. 4. 16	H25. 3. 5	非常勤

(4) 職員及び組織図

職員 20 名、嘱託 4 名で組織図は以下のとおりです。



2 評議員会及び理事会

(1) 評議員会

回数	開催日	議決事項等	評議員		議決の結果
			現在数	出席数	
1	1. 25	①平成 25 年度事業計画書について (1 月 4 日～12 月 31 日)	7 名	7 名	全員賛成
		②平成 25 年度収支予算書について (1 月 4 日～12 月 31 日)	7 名	7 名	全員賛成
		③役員の報酬の総額の設定について	7 名	7 名	全員賛成
		④役員及び評議員の報酬等の支給に関する規程の一部改正について (報告事項)	7 名	7 名	全員賛成
		①定款第 6 条第 2 項に基づき理事会の定める基本財産について			
		②登記済みの定款について			
2	2. 26	①平成 24 年度事業報告書について	7 名	6 名	全員賛成
		②平成 24 年度収支決算書について	7 名	6 名	全員賛成
		③平成 25 年度事業報告書について (1 月 1 日～1 月 3 日)	7 名	6 名	全員賛成
		④平成 25 年度収支決算書について (1 月 1 日～1 月 3 日)	7 名	6 名	全員賛成
		⑤定款の一部改正について	7 名	6 名	全員賛成
		⑥役員慰労金支給規程の一部改正について	7 名	6 名	全員賛成
		⑦理事の選任について	7 名	6 名	全員賛成
3	6. 9	①平成 25 年度収支予算書の一部変更について	7 名	5 名	全員賛成
		②役員慰労金支給規程の一部改正について (報告事項)	7 名	5 名	全員賛成
		①組織規程の一部改正について			
		②職員就業規則の一部改正について			
		③その他			
4	12. 6	①平成 26 年度事業計画書について	7 名	6 名	全員賛成
		②平成 26 年度収支予算書について	7 名	6 名	全員賛成

(2) 理事会

回数	開催日	議決事項等	理事		議決の結果
			現在数	出席数	
1	1.10	①定款第6条第2項に基づき理事会の定める基本財産について ②平成25年度事業計画書について(1月4日～12月31日) ③平成25年度収支予算書について(1月4日～12月31日) ④役員及び評議員の報酬等の支給に関する規程の一部改正について ⑤第1回評議員会の開催について(報告事項) ①登記済みの定款について	5名 5名 5名 5名 5名	5名 5名 5名 5名 5名	全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成
2	2.13	①平成24年度事業報告書について ②平成24年度収支決算書について ③平成25年度事業報告書について(1月1日～1月3日) ④平成25年度収支決算書について(1月1日～1月3日) ⑤定款の一部改正について ⑥役員慰労金支給規程の一部改正について ⑦第2回評議員会の開催について(報告事項) ①理事長及び専務理事による業務の執行状況について	5名 5名 5名 5名 5名 5名 5名	5名 5名 5名 5名 5名 5名 5名	全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成
3	決議の省略 3.6	①専務理事の選定について	5名	5名	全員賛成
4	5.24	①平成25年度収支予算書の一部変更について ②役員慰労金支給規程の一部改正について ③組織規程の一部改正について ④職員就業規則の一部改正について ⑤寄附金等取扱規程の新設について ⑥第3回評議員会の開催について	5名 5名 5名 5名 5名 5名	5名 5名 5名 5名 5名 5名	全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成
5	9.20	①職員退職手当支給規程の一部改正について	5名	5名	全員賛成
6	11.29	①平成26年度事業計画書について ②平成26年度収支予算書について ③職員就業規則の一部改正について ④第4回評議員会の開催について(報告事項) ①理事長及び専務理事による業務の執行状況について	5名 5名 5名 5名	5名 5名 5名 5名	全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成